

# コンピュータ演習 第12回

今回から第15回までの授業では、「総合的な演習」に取り組みます。

|      |                     |
|------|---------------------|
| 第12回 | 映像的なプレゼンテーションの作成(1) |
| 第13回 | 映像的なプレゼンテーションの作成(2) |
| 第14回 | プレゼンテーションの相互評価      |
| 第15回 | 相互評価の結果の集計、まとめ      |

今回と次回で、映像的なプレゼンテーションを制作します。

- プレゼンテーションソフトを使って、映像作品を作成しましょう。
- 「情報倫理」を題材に、ストーリー性のある内容で、注意をうながすことを目的にします。
- 「リハーサル機能」を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

## 連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅や外出先からでも利用できます。
- 携帯電話やスマートフォンからも利用できます。



## 今回の内容

### 1. 情報倫理の概説

- 情報倫理について
- プレゼンテーションのテーマの選択

## 今回の課題

- 課題: [情報倫理を啓発するプレゼンテーションの作成](#)
  - (1) テーマの決定
  - (2) プレゼンテーションの作成

# 情報倫理の概説

## 情報倫理について

プリントやeラーニング上での資料をもとに、「情報倫理」全般について説明します。次のポイントに注意してください。

- パソコンやインターネットの操作だけが重要ではない
- 利便性と危険性を十分に理解する
- 背景にある仕組みを理解する
- ネット上のコミュニケーションも現実のコミュニケーションと同じ

## プレゼンテーションのテーマの選択

今回と次回（第12回～第13回）の2回分の授業で、情報機器（パソコン、携帯電話、スマートフォン）やインターネットを利用する際に起こりうる、トラブルや犯罪の危険性を訴える、「啓発」を目的としたプレゼンテーションを作ります。

自分やまわりの人たちの体験、ネット上の資料をもとして、公共広告のテレビCMのような映像作品を制作します。視聴の対象を、高校生から大学生（10代後半～20代前半）とします。

プレゼンテーションで扱う「テーマ」について、下の表から1つだけ選択してください。「関連キーワード」は、テーマに関連する用語や語句で、問題となる現象やその原因などをまとめたものです。

| 番号 | テーマ        | 関連キーワード                                                                    |
|----|------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 個人情報の漏えい   | 個人情報やカード情報の流出、USBメモリやパソコンの紛失・盗難、機種変更、パソコンの破棄、パスワードの管理、不正アプリ                |
| 2  | 嫌がらせ・誹謗・中傷 | 荒らし行為、フレーミング、炎上、ネットいじめ、デマ、犯罪予告、匿名性、名誉毀損、業務妨害、リベンジポルノ                       |
| 3  | 迷惑メール      | ダイレクトメール、スパムメール、チェーンメール、デマメール                                              |
| 4  | 売買のトラブル    | ネットショッピング、ネットオークション、エクスローサービス、ネズミ講、違法物品や危険物の販売・出品                          |
| 5  | コンピュータウイルス | ウイルス対策ソフト、データの改ざん・消去・流出、システムの機能不全・破壊、踏み台、ファイルの偽装、スマートフォンでの被害、マルウェア、ランサムウェア |
| 6  | 著作権の侵害     | 文章・音楽・映像・ソフトの違法コピー、キャラクターの無断使用、無断で引用、コピペ、動画配信サイト、私的録音録画                    |
| 7  | ネット詐欺      | 架空請求、不当請求、ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺、なりすまし、詐欺サイト                                    |
| 8  | 情報の信ぴょう性   | クチコミ、うわさ、デマ、流言、拡散、SNS、Twitter、Facebook、Wikipedia、情報源、風評被害                  |

## 第12回の課題：情報倫理を啓発するプレゼンの作成

### (1) テーマの決定（今回のみ）

#### テーマの選択

プレゼンテーション制作を希望する、「情報倫理」のテーマを1つ決めてください。決まったら、次のようにして希望するテーマに投票してください。

1. 『テーマの選択』をクリック
2. 希望するテーマのチェックボックスをクリックし、「私の投票を保存する」ボタンをクリック
3. 投票結果が表示される

もし間違えて希望と違うテーマを選択した場合は、再投票すれば、希望するテーマを選択できます。

各テーマを選択できる人数には上限があります。このクラスの上限数は、「7人」です。

上限を超える場合は、授業担当者が抽選で選びますが、できれば自主的にテーマを変更してください。

#### 決定したテーマの報告

テーマが決まったら、eラーニングで報告してください。

1. 『第12回の課題』をクリック
2. 「質問に回答する ...」というリンクをクリック
3. 選択したテーマや選択した理由などを入力して、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリックすれば、報告完了！

### (2) プレゼンテーションの作成（今回と次回；次回提出）

今回と次回で、「**情報倫理の選択したテーマに関するプレゼンテーション**」を作成します。プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報倫理を訴えるということです。

#### 作品の内容

1. 視聴対象は、高校生から大学生（10歳後半～20歳前半ぐらい）
2. スライドの枚数は、7枚以上（多くても9枚まで）
3. スライドの構成は、場面ごとに考える
  - 第1場面：表紙（タイトル、学籍番号、氏名：スライド1枚）
  - 第2場面：起承転結の「起」
  - 第3場面：起承転結の「承」
  - 第4場面：起承転結の「転」
  - 第5場面：起承転結の「結」
  - 第6場面：まとめ（スライド1枚）
  - 第7場面：この作品について（スライド1枚）
4. プレゼン全体を、「**60秒前後**」（60秒±15秒程度）で再生する
  - スライドショーを自動的に実行する「リハーサル機能」を設定すること
  - 見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる
  - **必ず**インターネット上の詳しく解説された情報をもとに作成すること
6. 第7場面は、制作者（学籍番号、氏名）と参考にした情報をまとめる
  - 事例として参考にした情報（URL）を、1つ以上を掲載
  - 解説や注意点の参考にした情報（URL）を、1つ以上を掲載

◦ただし、Wikipadialは参考にはいけない

## 作品を制作するときの注意点

---

作品を制作したあと、相互評価（自分と他者の作品の評価）をします。そのときに使用する、統一した評価ルール（評価ポイントとその基準）があります。

6つの評価ポイントとその基準（**ループリック**）を事前に公開します。評価ポイントごとの基準に注意して、作品を作成しましょう。

## ファイルの保存

---

編集ができれば、次のようにして、ファイルに保存してください。

1. 「ファイル」タブをクリックして、「名前を付けて保存」を選択
2. 保存する場所に「このPC」を選択した後、「参照」をクリック
3. ウィンドウが開いたら、保存する場所（フォルダ）を選択
4. ファイル名に「情報倫理」+「学籍番号」+「.pptx」を設定（半角文字で）

◦例：学籍番号がH2171000の場合、ファイル名は「情報倫理h2171000.pptx」

## 課題の提出

---

この課題は、**次回(第13回)の授業**で提出してもらいます。注意してください。